

令和7年度 大阪府立消防学校教育訓練計画

別添

教育課程		入校資格	教育時間	実日数	教育期間	実施回	令和7年度 入校予定者	到達目標	主な教育内容
初任教育		新たに採用された者及び初任教育未修了者	920	全寮制 6ヶ月間	4月7日（月）～9月26日（金）	第118回	264名	服務義務を理解し、職務意欲が旺盛で、住民の信頼を得られる消防職員となること。 警防隊員として、基本的な安全管理について理解し、自らの安全を確保し、災害現場では隊長の下命に基づく基本的な活動ができること。 消防業務全般について概要を理解すること。 救急業務及び救急医学に関する基本的な知識を習得すること。 応急処置に必要な解剖生理及び各科の疾病状況に関する専門的知識を習得し、応急処置時における的確な観察及び判断能力を養うこと。 応急処置に必要な専門的技能を十分に発揮できること。 救急用器具及び材料の取扱いに関して精通すること。 住民からの一般的な質問に応答できること。	基礎教育（倫理、法学基礎、理化学、消防関係法令ほか） 実務教育（火災防ぎよ、査察・違反処理、防災、安全管理ほか） 実科訓練（訓練礼式、消防活動訓練、救助訓練、水難救助訓練、機器取扱訓練ほか） 救急科（救急業務及び救急医学の基礎、応急処置の総論ほか）
専科教育	警防科	警防担当者及び予定者	72	通学制 9日間	10月6日（月）～10月17日（金）	第321回	54名	警防行政の現状及び課題を理解すること。 防災関係法令に関する専門的知識及び災害対策に関する最新の知識を習得すること。 各種災害事象に対する基本的消防戦術を理解し、災害現場において部隊を適切かつ効果的に指揮できること。 心身の健康管理に積極的に取り組めること。	警防対策、消防戦術と安全管理、各種機器操作訓練、惨事ストレス対策、BC災害対策、集団災害対策、事例研究、シミュレーション訓練ほか
	予防科 防火査察課程	査察担当者及び予定者	48	通学制 6日間	6月19日（木）～6月26日（木）	第319回	52名	査察行政の現状及び課題を理解し、与えられた権限を正しく執行できること。 防火管理、建築規制及び消防用設備等に係る専門的知識、査察要領を習得すること。 違反処理に係る専門的知識を習得し、違反対象物に対する是正指導が適切にできること。	査察、違反処理、査察実習、事例研究ほか
	予防科 消防用設備課程	消防用設備等担当者、予定者及び警防担当者	48	通学制 6日間	6月10日（火）～6月17日（火）	第318回	35名	建築規制、消防規制に係る専門的知識を習得すること。	消防同意、消防規制事務、事例研究ほか
	予防科 危険物課程	危険物担当者、予定者及び警防担当者	48	通学制 6日間	7月8日（火）～7月15日（火）	第320回	31名	危険物行政の現状及び課題を理解し、与えられた権限を正しく執行できること。 危険物化学、指定可燃物及び液化石油ガス等に関して災害対策上必要な専門的知識を習得すること。 危険物施設に対しての許認可等を的確に行い、違反処理が適切にできること。	危険物規制、危険性評価設備等の性能評価、事例研究ほか
	火災調査科	火災調査担当者、予定者及び警防担当者	72	通学制 9日間	5月13日（火）～5月23日（金）	第317回	42名	火災調査業務に係る制度を理解し、与えられた権限を正しく執行できること。 原因調査、損害調査及び鑑定等に係る専門的知識を習得し、的確な判断能力を身に付けること。 文書実務に係る知識を習得し、火災調査技能を十分に発揮できること。	火災原因調査、火災損害調査、鑑定、調査実習、調査書類作成要領、関係法令、事例研究ほか
	救助科	救助隊員及び予定者	144	通学制 18日間	10月21日（火）～11月14日（金） 1月14日（水）～2月6日（金）	第322回 第323回	62名 62名	厳しい条件下においても、救助活動を遂行し得る旺盛な士気及び強健な身体を錬成すること。 救助活動に係る最新の専門的知識を習得し、専門的で高度な技能及び技術を備え、これらを活用した応用力を十分に発揮できること。 救助活動及び救助訓練において自らの安全を確保できること。	安全管理、災害救助対策、救助器具取扱訓練、救助基本訓練、惨事ストレス対策、NBC災害対策、救助応用訓練、体育、総合訓練、事例研究ほか
幹部教育	初級幹部科	消防士長の主任級 もしくは係長級で昇任後3年以内の者 消防司令補の主任級で昇任後3年以内の者	72	通学制 9日間	5月27日（火）～6月6日（金）	第139回	49名	初級幹部としての責任及び立場を正しく認識すること。 初級幹部として消防行政の動向を理解すること。 上司を補佐し、部下を指導できること。 事故及び事件の発生時に、迅速な初動対応ができること。 災害現場において、現場指揮者の下命を理解でき、自隊に対する安全管理と的確な下命を行えること。	講話、消防財政、人事業務管理、消防行政の現状と課題、安全管理、現場指揮、機器取扱要領、事例研究、図上シミュレーションほか
	中級幹部科	消防司令補の係長級 もしくは課長補佐級で昇任後3年以内の者 消防司令の係長級 もしくは課長補佐級で昇任後3年以内の者	56	通学制 7日間	11月19日（水）～11月28日（金）	第140回	50名	中級幹部としての責任及び立場を正しく認識すること。 中級幹部として消防及び社会全般の動向を理解すること。 迅速かつ的確な意思決定に基づき、上司を補佐し、部下を指揮監督することにより、円滑な組織運営ができること。 事故及び事件の発生時に、迅速かつ的確な初動対応ができること。 災害現場において、現場指揮者として、災害状況全般の把握、的確な安全管理及び下命を行えること。	講話、消防財政、人事管理、消防財政の現状と課題、訓練礼式、安全管理、現場指揮、事例研究、ホットトレーニングほか
	上級幹部科	本部の課長及び課長の職に準ずる者	8	通学制 1日間	1月23日（金）	第141回	36名	上級幹部にふさわしい業務管理、人事管理及び危機管理に必要な知見を備え、かつ、職責遂行に必要な水準の判断力を身に付け、組織全体を円滑に管理運営できること。	管理職の役割、人事管理、業務管理、危機管理ほか
特別教育	はしご車技術講習	はしご車隊長、機関員及び予定者	32	通学制 4日間	4月14日（月）～4月17日（木） 4月21日（月）～4月24日（木）	第186回 第187回	56名	はしご自動車の構造、機能を理解し、操作ができること。 はしご自動車の安全かつ有効、適切な運用と事故防止が図れること。	基礎力学、特殊装置の構造、基本取扱操作、応用訓練、故障と対策、点検・整備、安全管理ほか
	水難救助技術研修	救助隊員及び予定者	56	通学制 7日間	7月30日（水）～8月7日（木）	第189回	24名	水面救助技術全般を習得すること。 基礎的な潜水技術及び潜水土試験に合格する知識を習得すること。	水面救助、シュノーケリング検索、急流救助、潜水業務、送気、潜行及び浮上、高気圧障害、関係法令、潜水技術ほか
	通信指令研修	通信指令担当者及び予定者	32	通学制 4日間	7月1日（火）～7月4日（金）	第188回	23名	指令業務において、通信指令員に適切かつ効果的な指導が行えること。	指令業務、口頭指導、広報・報道対応、シミュレーション訓練ほか
	実火災体験型訓練 指導者研修	訓練実施時に指導的立場となる者	8	通学制 1日間	2月26日（木）	第194回	24名	実火災体験型訓練施設を使用した訓練の指導ができること。	環境測定注水、攻撃型冷却注水、開放型訓練、閉鎖型訓練ほか
	採用後3年目研修	令和5年度の初任教育修業者	16	通学制 2日間	2月9・10日（月・火） 2月12・13日（木・金） 2月16・17日（月・火） 2月19・20日（木・金）	第190回 第191回 第192回 第193回	228名	消防行政の遂行に必要な基礎知識、技術を再確認するとともに、将来の職務遂行能力と、職員としての資質向上を図れること。	服務、基本技術訓練、火災性状、消防倫理、講話ほか
	女性活躍推進研修	勤続4年以上10年末満の女性消防吏員 （係長級以上を除く）	8	通学制 1日間	3月6日（金）	第195回	37名	女性活躍による組織力の向上と、全職員が働きやすい職場環境づくりに向けた取組を理解すること。	セルフコーチング研修、グループディスカッションほか
	教育技法研修	職場において指導的立場の職員	8	通学制 1日間	3月30日（月）	第196回	25名	部下職員等への伝え方や指導方法を習得すること。	教育技法、ハラスメント、コーチングほか